

3 安全な地域づくり

災害に強いまちづくりの推進

計画的な土地利用の推進

○都市再生区画整理（都市計画課） 1,000 万円

都市再生区画整理事業を行った鯉ヶ崎・光岸地地区において、公園などの整備を行います。

○防災集団移転促進（都市計画課） 9,520 万円

震災で被害を受けた地区において、海岸保全施設などの整備をしてもなお、浸水が予想されるエリアを災害危険区域および移転促進区域に設定し、背後の高台などへの移転を図ります。

本年度も引き続き、移転対象者の移転補助および高台団地移転に係る住宅建設補助を実施するほか、公園に健康遊具の設置などを行います。

○庁舎跡地整備（復興推進課） 2 億 4,900 万円

市本庁舎および分庁舎移転後の跡地活用に向けて、旧庁舎の解体工事を行います。



旧市役所本庁舎＝写真＝と分庁舎は今年度解体予定。

再生可能エネルギーの確保・推進（環境生活課）

○再生可能エネルギープロジェクトの推進 45 万円

地域の自然資源による再生可能エネルギーを活用した「エネルギーの地産地消」の取り組みや、災害時に必要なエネルギーを供給できる取り組みを進めます。

事業を推進するため、官民一体で設立した協議会の活動を支援します。

◆宮古市スマートコミュニティ推進協議会（平成 25 年 7 月 23 日設立）

災害に強いライフラインの整備促進（上下水道部施設課）

○浸水対策 9億6,200万円

新川町地区、藤原地区において、雨水ポンプ場の整備を行います。

○水道施設の災害復旧 2,670万円

震災の津波で被災した地域において、水道施設の復旧工事を行います。

◆対象地区 赤前地区、日立浜町地区など

○生活用水供給施設整備 8,685万円

国道106号宮古盛岡横断道路整備に伴い門馬浄水場配水施設の移設を行います。

災害に強い交通ネットワークの形成

市内幹線道路・生活関連道路の復旧・整備

○市街地16号線道路改良（建設課）【新規】 2億3,000万円

県が整備する田老防潮堤乗り越し道路の整備事業費を一部負担します。

○荒巻笹見内地区道路整備（建設課） 1億円

暴風時に高波により通行止めになっている箇所を避けるため、トンネルを整備し、災害に強い交通ネットワークの形成を図ります。

◆内容 測量設計、用地測量、用地取得、補償、道路整備工事（640m）



○赤前4号線道路改良（建設課）【新規】 2,500万円

赤前4号線は、主要地方道重茂半島線と赤前地区とをつなぐ道路です。幅員の狭い部分を改良し、重茂半島線から赤前地区へのアクセス向上を図るとともに災害に強い交通ネットワークの形成を図ります。

◆内容 測量設計、用地取得、道路改良工事（70m）



○市街地 33 号線道路改良 (建設課) **【新規】**
910 万円

市街地 33 号線は、国道 45 号と県道有芸田老線とをつなぐ道路です。幅員の狭い部分を改良し、三陸沿岸道路から国道 45 号およびたろう道の駅へのアクセス向上を図るとともに災害に強い交通ネットワークの形成を図ります。

◆内容 予備設計、詳細設計



○赤前運動公園線道路改良 (建設課)
4,140 万円

赤前にある宮古運動公園から県道重茂半島線への道路を改良します。道路の狭い部分を改良し、災害に強い交通ネットワークの形成を図ります。

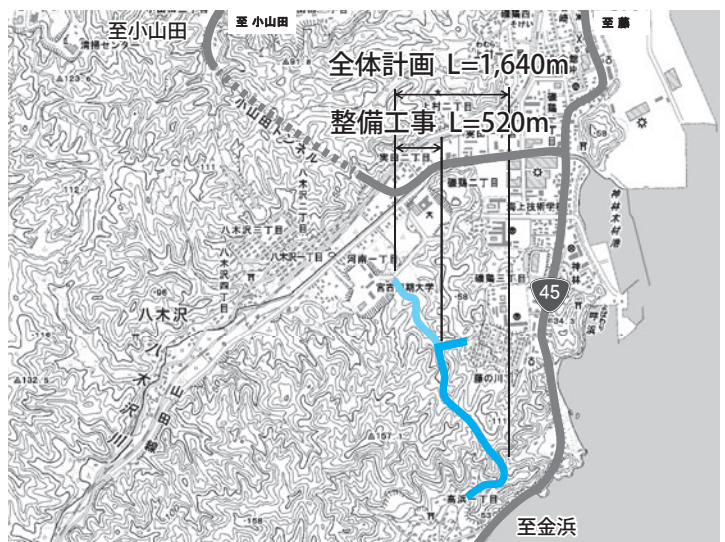
◆内容 用地取得、補償、道路改良工事 (100m)



○河南高浜線道路整備 (建設課) **1 億 9,371 万円**

河南高浜線は、河南地区・藤の川地区・高浜地区を結ぶ道路です。東日本大震災時に孤立した地区を解消するための避難道路として整備し、災害に強い交通ネットワークの形成を図ります。

◆内容 埋蔵文化財調査、用地取得、補償、道路整備工事 (520m)



○磯鷄金浜線（金浜工区）道路整備（建設課）

5,650 万円

磯鷄金浜線は、磯鷄地区・八木沢地区・金浜地区を結ぶ道路です。金浜工区では、金浜地区防災集団移転促進事業に伴う造成団地から国道 45 号までの間を拡幅します。防集団地との一体的な整備により、災害に強い交通ネットワークの形成を図ります。

◆内容 用地取得、補償、道路整備工事（340 m）



○高浜地区道路整備（建設課）

1 億 9,200 万円

国道 45 号から高浜地区を結ぶ二線堤機能道路を整備することにより、大規模津波災害時の浸水範囲を減少させ、后背地の安全性を確保します。

◆内容 補償、道路整備工事（455m）



○公共土木施設の災害復旧（建設課）

1 億 1,593 万円

被災した市道などの災害復旧工事を行います。

○末広町無電柱化推進（都市計画課）

1,163 万円

電柱類を地中化し、災害時における避難経路を確保するとともに、道路美装化によってまちなかににぎわいを生む道づくりに取り組みます。

◆内容 基本計画策定、概略設計



無電柱化後の末広町商店街（イメージ※）

※電柱を地中化したイメージ図であるため、実際の計画はイメージ図と異なる場合があります

公共交通の復旧と再生

- 公共交通利用環境整備（田老総合事務所） 1,400 万円
公共交通利用者の利便性向上のため、田老駅前では仮設対応していたトイレと駐輪場を整備します。
- 公共交通網形成計画策定調査業務（企画課） 850 万円
復興後のまちの形に合わせた持続可能な公共交通体系の構築を図るため、地域公共交通網形成計画を策定します。策定に合わせ、現状分析や市民ニーズなどの調査を行います。

地域防災力の向上

防災施設（避難路・誘導標識等）の復旧・整備（危機管理課）

- 津波避難誘導施設の整備 8,800 万円
安全かつ迅速に避難できる環境を整えるため、津波避難路および避難誘導標識を整備します。
- 津波避難路の修繕 800 万円
津波避難路などを修繕します。

自主防災組織の育成・強化

- 災害時支援ネットワークづくり（福祉課） 331 万円
災害時に自力で避難することが困難な市民を、町内会、消防団、民生委員などが連携し、地域ぐるみで災害から守る取り組みを推進します。
- 自主防災組織育成強化支援（危機管理課） 180 万円
地域の防災活動に係る経費を1団体10万円を限度に助成します。

防災・危機管理体制の強化と再構築

市民への情報伝達手段の再構築

- コミュニティエフエム放送の活用（秘書広報課） 1,662 万円
市民に向けて、コミュニティエフエム放送を通じて、被災者支援情報、復興関連情報、防災情報、地域情報など地域に密着した情報を提供します。
- 防災行政無線整備（危機管理課） 3 億 4,730 万円
市内全域の防災行政無線をデジタル方式で整備・統合し、緊急時の防災体制を強化します。今年度は、田老地区の防災行政無線をデジタル方式で整備します。

【復興事業】

4 | その他

- 宮古市東日本大震災復興計画の推進（復興推進課） **4,810 万円**
震災からの迅速かつ着実な復興のため、宮古市東日本大震災復興計画に掲げる各施策の推進を図ります。
- 国土調査（農林課） **1 億 3,367 万円**
土地一筆ごとに所有者・地番・地目・境界を調査し、測量を行い地籍図および地籍簿を作成します。
◆継続調査（地積測定・地籍図作成など）9.61 km²=田老字下撰待・星山、茂市の一部、腹帯の一部
◆新規分（一筆地調査など）5.76 km²=藤の川、神林、磯鶏の一部、墓目の一部、江繋の一部
- 田老庁舎移転新築（田老総合事務所） **3 億 6,048 万円**
田老庁舎の移転新築工事を行います。
- 情報通信基盤施設維持管理（川井総合事務所） **2,740 万円**
一般国道 106 号宮古盛岡横断道路の整備に伴い支障となる地域情報通信基盤施設の光ケーブルなどの移設を行います。
- 災害弔慰金などの支給・災害援護資金の貸し付け（福祉課） **1,935 万円**
震災で亡くなられた方のご遺族への「災害弔慰金」と、負傷や疾病により身体または精神的に著しい障がいが生じた方への「災害障害見舞金」の支給や、生活再建に必要な資金の貸し付けなどを行います。
- 復興支援スポーツ交流【新規】（生涯学習課） 166 万円**
国内外に復興状況を発信するため、復興支援として行われる 2019 プロ野球イースタン・リーグ公式戦「東北楽天ゴールデンイーグルスー読売ジャイアンツ」戦の受け入れ体制を整えます。
- 復興推進スポーツチャレンジ（生涯学習課） **300 万円**
子どもたちに、身体を動かす楽しさや喜びを実感できる機会を提供します。
- 復興オリ・パラ推進事業（生涯学習課） **46 万円**
東京オリンピック・パラリンピックにおける「復興ありがとうホストタウン」に認定されたことから、相手国（シンガポール共和国）との交流事業の実現に向けた事業を行います。また、県内聖火リレーのコース選定に向けて関係機関との連携を図ります。
- 東日本大震災追悼式（総務課） **222 万円**
震災によって犠牲になられた方々を慰霊・追悼し、市の復興に向けた誓いを新たにするための追悼式を開催します。
- 放射能影響対策（環境生活課） **19 万円**
東京電力福島原子力発電所事故による放射能の影響について、市内 9 カ所の空間放射線量を測定して公表します。また食品の放射性物質の測定などを実施します。